

【基本目標3】 雇用創出と「信州なかの」ブランドを

いかした産業振興戦略

～労働と基幹産業の安定～

雇用の創出と基幹産業の安定は、活力ある地域経済を維持する基礎となるものです。国内有数の産地であるきのこ・果樹・野菜等の地場産品について広く情報発信しながら、その振興・発展を図るとともに、長い歴史の中で培われた伝統的な文化や風土、豊富な地域資源を磨き上げ、「信州なかの」ブランドの魅力を高めます。

数値目標	基準数値	H31目標数値
市内事業所就業者数	17,938人(H24)	17,316人
農業付加価値額	2,204百万円(H24)	2,215百万円

雇用創出と「信州なかの」ブランドをいかした産業振興戦略に関する施策
施策（1） 農業の活性化
① 「信州なかの」のブランド化 ② 中野市まるごと6次産業化 ③ 新品種、新技術の導入支援 ④ 遊休荒廃農地の解消
施策（2） 域内経済の循環促進
① 「まちなか」に元気を！市街地のにぎわい再生 ② 「稼ぐ力」を強化する企業支援と人材確保 ③ 食とエネルギーの地産地消
施策（3） しごとの創生
① 夢と「ずく」がある人を応援する起業支援 ② 女性と高齢者の就業支援
施策（4） 観光振興と交流の推進
① 地域資源をいかした観光交流 ② 観光振興の体制整備

施策（１） 農業の活性化

本市の基幹作物である、きのこ・ぶどう・りんご・もも・アスパラガスなどの農産物の生産性の向上と品質管理の徹底を促進します。同時に、各農家・JA・行政が連携し、付加価値の高い作物の生産、市場情報の的確な把握などを通じて、ブランド性を高めた売れる農業を推進します。

「信州なかの」のブランド化

- えのきをPR「えのきっさ」
(銀座NAGANO)



- 「信州なかのフェア」
in 横浜



中野市まるごと6次産業化

- 農業生産と加工・販売を一体化



新品種、新技術の導入支援

- 新品種きのこ
「バイリング」



- 新技術導入事業者への支援


遊休荒廃農地の解消


- 再活用する個人、団体への支援拡充





◆重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準数値	H31目標数値
イベントの開催及び出展回数	13回 (H26)	30回
6次産業化事業計画認定件数	5件 (H26)	7件
新技術確立件数	7件 (H22~26年度累計)	15件 (H27~31年度累計)
遊休荒廃農地面積	456ha (H26)	451ha

具体的施策①	「信州なかの」のブランド化
国内有数の生産量を誇るきのこをはじめとした、「信州なかの」産農産物及び加工品の販路開拓を支援するとともに、知名度の向上、ブランド化を図り国内外への販売を強力に促進します。	
実施事業	◆売れる農業推進事業（多様なマーケティング推進事業） ◆園芸産地育成事業（強い農業づくり事業）
戦略重点事業	 <p>【多様なマーケティング推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 巨大消費地域で生産者が直接商品を紹介する物産展「信州なかのフェア」を開催します。 ◇ 産地からの情報発信を目的に、各種イベント等に出展します。 <p>【農業魅力発見事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 独自デザインの農作業服の普及や、ライフスタイルの発信により、農業の魅力向上を図ります。 <p>【ふるさと寄附金の返礼品の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 市内農産物や加工品の一層のPRのため、「ふるさと寄附金」の返礼品の充実を図ります。
担当部署	総務部（政策情報課） 経済部（営業推進課）（売れる農業推進室）

具体的施策②	中野市まるごと6次産業化
本市の魅力である豊かな自然環境に存在する資源を有効活用し、雇用と所得の確保及び地域活力の向上を図るため、農業生産と加工・販売を一体化し付加価値を高め、新たな産業を創出するための6次産業化を推進し「稼ぐ農業」をめざします。	
実施事業	◆売れる農業推進事業（農商工連携事業促進補助） ◆6次産業化ネットワーク活動交付金事業
戦略重点事業	 <p>【多様な主体が参画する6次産業化の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 農業関係団体、経済団体、金融機関等と連携し、事業者の経営規模拡大や設立を支援します。 ◇ 県と連携し、ワインや日本酒及び伝統野菜ぼたんこしょうなどのブランド力向上と国内外での販路・消費の拡大を図ります。 <p>【産地発「地域ブランド商品」の開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 中野市産果実のスイーツ開発など、園地を巻き込んだ新商品の創出を支援します。 ◇ きのこの一大産地として「地域の看板商品」の開発を支援します。 ◇ 地域の技術力を結集し、中野市産酒米を活用した新しい「純中野市産の清酒」の開発を支援します。 <p>【「きのこの聖地」プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ きのこ栽培業者、金融機関等と連携し、きのこ産業全体の情報発信基地である「（仮称）きのこミュージアム」の民間資本による設置について検討します。
担当部署	経済部（農政課）（売れる農業推進室）

具体的施策③	新品種、新技術の導入支援
競争力の高い産地の育成を図るため、市場競争に打ち勝てる新品種や新作型のための新技術導入の支援を促進し、多様化する実需者要望や新たな需要創出に結びつく生産体制の確立、持続的な産地の構築をめざします。	
実施事業	◆園芸産地育成事業（農業生産等新技術確立事業） ◆農業経営技術奨励賞事業
戦略重点事業 	【先進農業技術の導入促進】 ◇ 本市産農産物の競争力強化を図るため、ICT を活用した先進農業技術などの導入について研究します。
担当部署	経済部（農政課）

具体的施策④	遊休荒廃農地の解消
遊休荒廃農地の減少及び再生を目的とし、農業者等が行う当該農地の再生作業、営農の取組に対し、必要な財政的支援、情報提供などを通じ総合的に支援します。	
実施事業	◆遊休荒廃農地対策事業 ◆人・農地プラン推進事業 ◆農業経営基盤強化促進事業 ◆農用地利用調整会議事業
戦略重点事業 	【遊休荒廃農地再生支援事業】 ◇ 農地の再生を行う方に対し、再生作業及び再生後の営農に関する経費を支援します。意欲ある担い手及び新規就農者については、経営規模拡大及び新規就農者支援の観点から、より手厚い支援を行います。 ◇ 関係機関協力の下、遊休荒廃農地を再生した後、意欲ある担い手及び新規就農者へ当該農地をあっ旋する体制を検討します。 【農用地利用集積調整会議】 ◇ 農地貸借希望者への情報提供に努め、農地の遊休化を未然に防止するとともに、農地の集積及び円滑な農地貸借を進めます。 ◇ 農地集積等に資する遊休荒廃農地については、積極的に農地借受け希望者へのあっ旋を進め、遊休荒廃農地の解消及び経営規模拡大への支援を図ります。
担当部署	経済部（農政課）

施策（２） 域内経済の循環促進

地域資源を活用し、地域で生産したものを地域で消費する「地産地消」を推進するとともに、市外のみならず世界からの域外需要の取り込みや労働生産性の向上により市内産業の「稼ぐ力」を高め、地域内で経済が循環する自律的な経済構造を構築します。

「まちなか」に元気を！市街地のにぎわい再生

- 魅力を創出し、活力ある市街地へ



「稼ぐ力」を強化する企業支援と人材確保



- 特定専門家（プロフェッショナル人材）によるセミナー等の開催

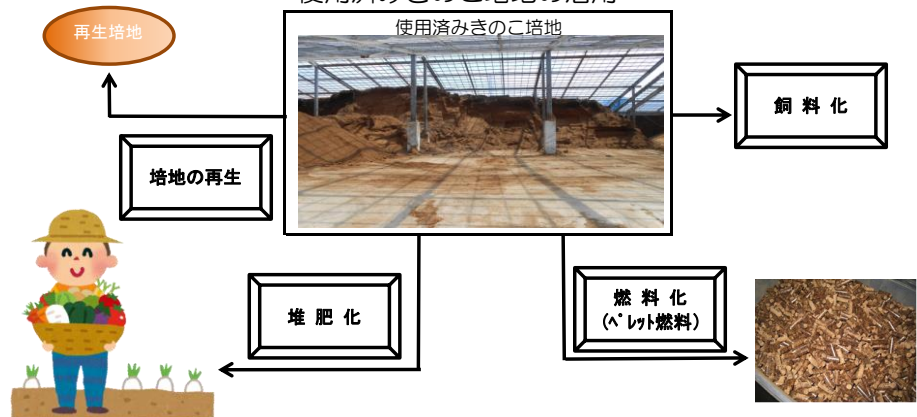
食とエネルギーの地産地消

- 農産物直売所



（調理方法などきめ細かなサービスの提供）

- 使用済みきのご培地の活用




◆重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準数値	H31目標数値
歩行者通行量（市街地 10 か所）	日曜：1,659 人（H26） 平日：3,283 人（H26）	日曜：1,744 人 平日：3,450 人
特定専門家セミナー開催数	—	4 回
学校給食での地元産食材使用率	57.1%（H26）	65.0%

具体的施策①		「まちなか」に元気を！市街地のにぎわい再生	
<p>市街地ににぎわいを生み出す活動を支援するため、商店街事業者が意欲的に取り組む商品開発、販路開拓、情報発信等の活動を支援し、商店街のさらなる魅力向上に向けた取組を支援します。また、歴史あるイベントやにぎわいを創出する新たな取組を促進するため、信州中野商工会議所や各種団体と連携し、来訪意欲のわく魅力的なまちづくりを推進します。</p>			
実施事業	◆商店街活性化事業 ◆観光イベント事業（市民祭、街並みウォーキングなど）	◆まちづくり推進事業	
戦略重点事業	<p>【まちなか朝市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 本市の豊かな農産物に親しみ、まちなかのにぎわいを創出するため、お洒落でカッコイイ「まちなか朝市」の開催について検討します。 ◇ 新鮮な野菜サラダやスムージーといった美味しく健康的なメニューを提供するなど、外食で朝食をとるスタイルを発信し、加工・販売により付加価値の向上を図る取組を支援します。 <p>【空き家、空き店舗活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 空き家、空き店舗の活用を希望する事業者に対し、金融機関と連携し、物件情報の提供や起業資金の補助など、起業・創業しやすい環境の整備を検討します。 		
担当部署	経済部（営業推進課）		

具体的施策②		「稼ぐ力」を強化する企業支援と人材確保	
<p>市内商工業者の経営強化の取組や、事業承継の円滑化などに対する支援とともに、外部の専門家によるセミナー等を実施することにより、創意工夫をする事業者や創業希望者への支援を充実します。また、高速道路・北陸新幹線による高速交通網を最大限にいかし、起業や創業、新事業展開、異業種事業進出の支援による産業誘発と企業誘致を進め、雇用の創出を図ります。</p>			
実施事業	◆商工業振興事業 ◆雇用対策事業 ◆奨学金貸与事業	◆金融対策事業 ◆勤労青少年ホーム運営事業	◆労働者福祉事業 ◆工業推進事業
戦略重点事業	<p>【特定専門家（プロフェッショナル人材）派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 金融機関や県、他市町村と連携し、外部の特定専門家（プロフェッショナル人材）を招へいし、セミナー等により情報を域外から得る仕組みを確立し、新たな「気づき」のきっかけとします。 <p>【ふるさと就職者及び定住者の奨学金負担軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 市内に就職や定住した奨学生の負担軽減を図るため、奨学金償還の一部免除について検討します。 		
担当部署	経済部（営業推進課）（勤労青少年ホーム）		教育委員会（学校教育課）

具体的施策③	食とエネルギーの地産地消
<p>生産者・JA などの農業関係団体と連携し、地産地消の核となる直売所などにおいて取り扱う地場農産物の品目の充実、運営・販売力を強化するとともに、学校給食を通じ食農教育活動の促進、食文化の継承など地場農産物を使った食育活動など、食の地産地消を推進します。また、本市の基幹産業であるきのこ栽培で発生する使用済み培地の活用を軸とした事業化プロジェクトへの支援を通じエネルギーの地産地消を推進します。</p>	
実施事業	<p>◆地域バイオマス産業化推進事業 ◆学校給食センター運営事業（地元食材活用促進事業）</p>
<p>戦略重点事業</p> 	<p>【バイオマス^{※14}の活用推進】</p> <p>◇ 農業残渣等を活用したバイオマスエネルギー^{※15}の産業化を支援します。</p> <p>【地元食材活用促進事業】</p> <p>◇ 「信州なかの産」農産物の利用を促進するため、学校給食の地元産食材使用率を向上させるとともに、小学校において栄養教諭等による地域食材に関する食育活動を推進します。</p>
担当部署	<p>経済部（農政課） 教育委員会（給食センター）</p>

※14 バイオマス：生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のこと。

※15 バイオマスエネルギー：バイオマスを活用することにより発生するエネルギー。

施策（3） しごとの創生

地域産業に新たな活力を生み、ビジネス交流を活発にする「起業」に対する支援を強化します。また、女性や高齢者の力をいかすため、女性が働きやすい環境づくりや高齢者の再就職支援を推進し、ワーク・ライフ・バランスの支援体制を構築します。

夢と「ずく」がある人を応援する起業支援



- ・ 創業意欲を高める環境づくりを進めます。
- ・ コワーキングスペース※16などの活用による、若者や女性、企業経営者等のマッチングを検討します。

女性と高齢者の就業支援



- ・ 女性のスキルアップを目的とした各種セミナーの開催
- ・ 県と連携した就業相談などにより、女性の就業希望者を支援します。





- ・ シルバー人材センターを支援し、高齢者の就業機会を確保します。
- ・ 経験に基づいた高い技術やノウハウをいかせる環境づくりを進めます。

◆重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準数値	H31目標数値
空き家・空き店舗を活用した創業者数	—	2件
女性のための就職支援事業を活用した女性の就業率	—	30.0% (H27~31年度累計)
シルバー人材センター会員数	753人(H26)	791人

※16 コワーキングスペース：Co（ともに）working space（働く場所）という意味の言葉。具体的には、事務所スペース、会議室、打合せスペース等を共有しながら、起業・創業をめざす人や、フリーランス（個人事業者）が各自で仕事をする交流型オフィス。

具体的施策①	夢と「すぐ」がある人を応援する起業支援
<p>地域産業に新たな活力を生み、ビジネス交流を活発にする「起業」を促進するため、起業に要する知識やノウハウを学ぶ場の提供や情報の発信、空き店舗や空き家を活用したオフィス環境整備に関する補助を行い、金融機関と連携し起業者の支援を強化します。</p>	
実施事業	◆商店街活性化事業（商店街空き店舗活用事業） ◆新規創業者創出推進事業
戦略重点事業 	<p>【コワーキングスペース整備支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 起業志望者などをサポートするため、空き店舗などを活用したコワーキングスペースの整備を検討します。 <p>【テレワーク・サテライトオフィス推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 市内に居住しながら大都市での仕事を両立できるふるさとテレワーク基盤の整備や、インターネット等の活用による新たな働き方に関する研修会・講習会を実施し、市内での就業を希望する事業者への支援を検討します。 ◇ 県と連携し、首都圏等に本社を有する企業のサテライトオフィス誘致を促進するための検討を行います。 ◇ 若者やクリエイティブ人材が自らの仕事をしながら、新たなビジネスマッチングを創出するシェアオフィスの環境づくりを検討します。
担当部署	経済部（営業推進課）

具体的施策②	女性と高齢者の就業支援
<p>女性が働きやすい環境整備に資する就職支援を強化し、ワーク・ライフ・バランスの支援体制を構築します。また、高齢者が持つ経験と高い技術をいかし、就業意欲の高い高齢者の就業支援を推進します。</p>	
実施事業	◆女性のための就職支援事業 ◆雇用対策事業（中高年齢者等雇用促進奨励事業） ◆働く婦人の家運営事業 ◆高齢者生きがい対策事業（シルバー人材センター運営事業など）
戦略重点事業 	<p>【女性の就業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ スキルアップを目的としたセミナーなどを開催し、女性の就職を支援します。 ◇ 県と連携した就業相談などにより女性の就業希望者を支援します。 <p>【高齢者の就業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ シルバー人材センターの活動を支援し、高齢者の就業機会を確保します。 ◇ 高齢者の経験や技術をいかす環境づくりを進めます。
担当部署	健康福祉部（高齢者支援課） 経済部（営業推進課）（働く婦人の家）

施策（４） 観光振興と交流の推進

本市は交通の要衝にあり、近隣には多くの観光客が訪れる観光地に囲まれた立地にあります。豊かな自然や温泉、伝統工芸などの地域資源をいかした魅力ある観光地づくりを推進し、農産物や酒などの豊かな観光商品を活用した積極的な交流を推進します。

インハウンドの促進
（外国人留学生との観光交流）



恵まれた自然環境を活用
「故郷」の歌詞にある「かの山」「かの川」



地域資源をいかした観光交流

観光振興の体制整備

総合的なマネジメントによる交流人口の増加



豊かな農産物をPR





市の花「バラ」の情報発信

◆重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準数値	H31目標数値
地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング	685位（H26）	400位
観光地利用者延べ人数	52万人（H26）	54万人
中野市版DMO ^{※17} の設立	—	設立

※17 DMO：様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。Destination Management/Marketing Organization の略。

具体的施策①		地域資源をいかした観光交流	
中野地域の歴史、豊田地域の自然、中野土人形、豊かな農産物など、歴史・自然・伝統・文化・食など多様な魅力を一体的につなぎ、魅力ある観光地づくりを推進します。			
実施事業	◆観光施設管理事業 ◆観光イベント事業（ふるさと祭り、もみじ祭りなど）	◆観光振興事業（観光PR事業など） ◆土人形の里づくり事業	
戦略重点事業 	<p>【天領の歴史を活用した観光の推進】</p> <p>◇ 天領、陣屋の街並みを活用するとともに、既存の観光資源との連携を図り、観光振興を推進します。</p> <p>【インバウンド※18 推進事業】</p> <p>◇ 「日本の原風景」「豊富な農産物と食」といった地域資源を活用し、外国人観光客の誘致を推進します。</p>		
担当部署	経済部（営業推進課）	豊田支所（地域振興課）	

具体的施策②		観光振興の体制整備	
地域の多様な観光資源を組み合わせ、総合的にマーケティングするとともに、未活用の資源を活用した観光商品の企画や豊かな「食」のブランド化を図る戦略的なプロモーションを推進する体制を整備します。			
実施事業	◆観光振興事業（観光コーディネーターボランティア育成事業など） ◆中野市版DMOの設立	◆観光協会などの体制強化	
戦略重点事業 	<p>【中野市版 DMO の設立】</p> <p>◇ 地域の多様な観光資源を組み合わせ、総合的にプロモーションするとともに、新たな観光商品の企画や情報発信を一元的にマネジメントする体制を整備します。</p>		
担当部署	経済部（営業推進課）		

※18 インバウンド：「外から中に入ってくる」という意味の言葉で、ここでは訪日外国人旅行（者）を指す。